

平成 29 年 9 月 26 日

関 係 各 位

広島大学大学院国際協力研究科長
馬場 卓也 (公印省略)

教員 (テニュアトラック) の公募について (依頼)

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募いたします。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

なお、広島大学大学院国際協力研究科開発技術講座は、分野融合の視点から、国際環境協力を通じて環境的に持続可能な発展を実現するため、途上国を対象に、「都市・交通技術」、「エネルギー技術」、「リスク管理技術」及び「生物生産技術」に関する教育・研究に取り組んでいます。

今回の公募では、都市化に起因するエネルギー消費の増大や社会的排除、気候変動に起因する災害、資源不足による紛争など途上国が抱える喫緊の課題を踏まえ、リスク管理技術分野またはエネルギー技術の教育・研究を英語により担当できる教員を補充し、研究分野間の連携を強化します。

記

1. 所属 (配属) 広島大学大学院 (大学院国際協力研究科開発科学専攻開発技術講座)
2. 職名・人員 助教 1 名 (テニュアトラック)
3. 採用予定年月日 平成 30 年 2 月 1 日
4. 任期又は有期雇用契約期間 (テニュアトラック期間) 5 年
広島大学のテニュアトラック制に関する規則に基づき、テニュアトラック期間が満了する 6 ヶ月前までにテニュア審査を行い、これに合格すればテニュアを付与します。
5. 専門分野 土木工学、建築学、船舶海洋工学、環境学、農学の分野において、主に途上国を対象とするリスク管理技術またはエネルギー技術の教育・研究
6. 担当科目

教養教育科目	持続可能な発展のための教養科目 (英語または日本語)
学部 (専門教育科目)	持続可能性とリスク管理技術の専門基礎科目 (英語または日本語) または 持続可能性とエネルギー技術の専門基礎科目 (英語または日本語)
大学院 (博士課程前期)	持続可能性とリスク管理技術の専門科目 (英語) または 持続可能性とエネルギー技術の専門科目 (英語)
大学院 (博士課程後期)	持続可能性とリスク管理技術の演習科目 (英語) または 持続可能性とエネルギー技術の演習科目 (英語)

*この他、教養教育科目や他の学部・大学院の専門教育科目、全学授業も担当することがあります。

7. 応募資格

次の要件をすべて満たす者

- (1) 35歳以下であること（平成30年3月31日時点）
※文部科学省「国立大学若手人材支援事業」の年齢制約に基づき、応募条件を設定しております。（※平成29年7月採択済み。）
※年齢制約に関する詳細は、広島大学人事部人事グループ（TEL：082-424-6038）までお問い合わせください。
- (2) 博士の学位または外国の Ph. D. を有すること。
- (3) 専門分野における十分な研究業績があること。
- (4) 英語による教育・研究指導ができること。

8. 応募書類

- (1) 履歴書（市販の様式により写真貼付のこと、英語能力検定結果など英語能力を評価できるものがあればその写しを添付すること）
過去5年間に広島大学で雇用（TA, RA, 研究員等を含む）されたことがある場合は、漏らさず記載してください。
- (2) 研究業績一覧
 - ① 学術雑誌掲載論文（審査付原著論文、インパクトファクター付き論文（インパクトファクタースコア））
 - ② 国際会議発表論文（査読の有無）
 - ③ 参考論文（①、②以外の論文）
 - ④ 著書
 - ⑤ 外部研究資金獲得状況（代表・分担の別）
 - ⑥ その他（総説、解説、特許、データベースなど）に分類し、通し番号を付して記載
- (3) 上記①、②のうち主要論文5編以内のpdfファイル
- (4) これまでの研究経歴および研究概要（A4判2枚程度）
- (5) 採用後の研究計画および教育・国際貢献の抱負（A4判2枚程度）
- (6) 担当授業科目「持続可能性とリスク管理技術の専門科目（英語）」または「持続可能性とエネルギー技術の専門科目（英語）」のシラバス案（90分×15回分）

9. 応募期限 平成29年11月15日（水）17:00（日本標準時）必着

10. 応募書類送付先

広島大学大学院国際協力研究科長 馬場卓也

メール：koku-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp および zjy@hiroshima-u.ac.jp

11. 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 必要に応じて面接を行うことがあります。面接を行う場合は、英語による模擬授業を行います。ただし、交通費等は支給できませんので、あらかじめ御了承ください。なお、書類審査通過者に面接を行う場合は、その形式について、別途連絡します。
- (3) 広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績（研究業績、教育業績、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。

12. 給与等

- (1) 採用になった方には、年俸制が適用されます。（広島大学年俸制職員給与規則適用）
- (2) 採用になった方には、本学の規則に基づき、採用に伴う旅費を支給できる場合がありますのでお問い合わせ下さい。

13. 評価

本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。

14. その他

- (1) 応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関

係に必要な手続きに利用するものであり、この目的以外での利用または提供することはありません。なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて破棄いたします。

- (2) 広島大学では全ての大学教員は「学術院」に所属し、学部、研究科、研究院、病院などの教育研究組織に配属されます。教員は配属された教育研究組織の教育・研究に従事することになりますが、教養教育科目や他の教育研究組織の教育・研究、全学事業を担当することもあります。
- (3) 本公募により採用された教員には、教育研究環境整備のためのスタートアップ経費（200万円：初年度のみ）が措置されます。
- (4) 本公募は文部科学省の平成29年度国立大学改革強化推進補助金（国立大学若手人材支援事業）による補助対象のため、雇用対策法施行規則第1条の3第1項第3号ニに該当するとして実施します。

15. 問い合わせ先

広島大学大学院国際協力研究科開発技術講座 張 峻屹
TEL & FAX:082-424-6919、E-mail:zjy@hiroshima-u.ac.jp

以上